

競技上及び審判上の注意事項

本大会は、公認野球規則、及び全軟連規定を適用。但し次の規定を優先する。

1. ベンチは、組合せ番号の若い順を一塁側とする。先攻、後攻はトスにて決める。
2. 試合時間は7回戦1時間20分とする。（プレーボールの後に、両チームへ必ず開始時間を伝えることとする）
時間を過ぎて新しい回には入らない。表の攻撃で時間が来た場合は（先攻チームが勝っている時）、裏の攻撃までやることとする。裏の攻撃で（後攻チームが勝っている時）時間が来た時は、アウトカウントに関係なくその打者で終了することを、球審は宣告しなければならない。
3. 参加資格は、5年生以下の少年、少女で編成したチームで大会前に杉並区軟式野球連盟に登録のある単独チームとする。尚、補強は認めない。不正出場その他規則違反に対しては、杉並区軟式野球連盟規約により処理する。
4. 延長戦は行わず、試合終了時間を超えて同点の場合は抽選とし、試合時間内に7回が終了し同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用し試合を続行する。特別方式は1イニングとし、勝敗が決しない場合は抽選によって勝負を決定する。特別方式はノーアウト1・2塁、継続打順で行う。
5. 得点差によるコールドゲームは3回終了時10点差、4回終了以降7点差、及び降雨、日没により4回以降続行不可能となった時とする。正式試合の成立は4回完了時とする。
6. 小学生は、投手は変化球を投げる事を禁止する。ペナルティは競技者必携を参照する。
7. 準決勝以降については、投手の投球制限を7イニングまで、もしくは70球までとする。また、先に規定に達したものを採用する。
但し、①ボークの場合は投球数に入れない。②打者途中で70球に達した場合はその打者が終了するまで投げることが出来る。
8. 用具については、打者、走者、次打者、ベースコーチは両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用。捕手はプロテクター、レガード、ファウルカップ、スロートガード付きマスク、ヘルメットを着用の事。ハイコンバットは、J. S. B. B. のマークの入ったものを使用する事。
9. ボークについては1回目から適用する。
10. 抗議の出来る者は監督、当該プレイヤーとする。但し、判定についての抗議は認めない。
11. 選手交替の際は必ず監督が球審に申し出る事。
12. 自チーム、相手チームに対する品位のない言動に充分注意する事。
13. 開始予定時間30分前に大会本部にメンバー表3枚を提出し、検印を受けた後、1枚をチーム控えとして返却する（残りの2枚は、対戦チーム用と本部用とする）。試合開始予定時間30分前に大会本部へメンバー表を提出されなかった場合、または試合開始予定時間に集合しないチームは不戦敗とする。
14. 試合中は、監督に限りグラウンドに出て指示する事が出来る。監督及びコーチはグラウンド内でグローブの使用を禁止とする。父母はグラウンドに入れない。
15. 背番号は選手0～99（主将10）の20名以内、監督30、コーチ29、28番、登録は男女問わない。
16. ベンチ入りは監督、コーチ2名（登録者）、スコアラー（チーム帽子着用）、健康管理者2名以内（チーム帽子着用）、計6名以内と登録選手20名までとするが、5・6年生以上でそれを越える場合は、本部・球審・相手監督の許可を得て入る事が出来る。尚、メンバー表（20名まで）以外の選手はプレーには参加出来ない。

